



都営交通
TOEI TRANSPORTATION

2025

経営レポート
Management report



はじめに

東京都交通局は、2025年4月1日現在、都営地下鉄、都営バス、東京さくらトラム（都電荒川線）、日暮里・舎人ライナー及び発電の5事業並びにこれらに関連する事業を運営しています。

経営に当たっては、東京の都市活動や都民生活を支える公共交通機関としての使命を果たすため、安全・安心の確保を最優先に、接遇の向上や快適な施設の整備に取り組む一方、コスト縮減や業務運営の効率化などにも努めています。

このレポートは、東京都交通局の経営状況等を簡潔にまとめ、お客様や都民の皆様の交通局事業に対する理解と信頼を得ることを目的として作成しています。

目次

1 都営交通について

P2～3 都営交通について

2 経営の状況

P4～5 事業別の状況

P6～7 財務指標（営業収益・経常損益）

P8～10 損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書

P11 運輸成績表

P12～21 事業別参考資料
（都営地下鉄、都営バス、日暮里・舎人ライナー、関連事業）

3 経営指標比較

P22～23 比較対象団体、使用する指標

P24～25 高速電車事業／都営地下鉄

P26～27 自動車運送事業／都営バス

P28～29 軌道事業／東京さくらトラム（都電荒川線）

P30～31 新交通事業／日暮里・舎人ライナー

P32～33 電気事業／発電

(補足説明) 数値については、原則として、表示単位未満を四捨五入しているため、合計等と一致しない場合があります。
金額については、原則として、税抜きで表示しています。
一日平均は、営業日数で除したものです。（2024年度営業日数 365日）

報告対象期間は、

- 2 経営の状況：2024年度（2024年4月1日から2025年3月31日まで）、
- 3 経営指標比較：2023年度（2023年4月1日から2024年3月31日まで）です。
ただし、必要に応じて当期間の前後についても言及しています。

1 都営交通について

経営理念

私たち都営交通は、都民やお客様に信頼され、支持される公共交通機関として、安全・安心、快適なサービスを追求し、多様な主体と連携しながら、東京の都市活動や都民生活を支えていきます。

経営方針

- 都民やお客様の信頼に応えるため、安全・安心を最優先し、全職員が一丸となって、災害に強く、事故のない都営交通を実現します。
- お客様が求める質の高いサービスを提供し、快適で利用しやすい都営交通を実現します。
- 首都東京が抱える様々な課題に果敢に挑戦し、東京の発展に貢献する都営交通を実現します。
- 事業環境の変化に迅速かつ的確に対応しつつ、中長期的に安定した事業運営を行っていくため、強固な経営基盤を確立します。

目指す姿	主な計画事業（2025年度-2027年度）
誰もが円滑に移動できる公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ○施設や車両の利便性・快適性向上 ○子育て支援の充実 ○情報案内の充実 ○サービス品質の持続的向上 ○輸送需要への対応
移動を軸にした多彩な価値の提供	<ul style="list-style-type: none"> ○都営交通や沿線地域の魅力発信 ○乗車サービスの充実 ○スタートアップとの連携強化 ○魅力的な駅空間の創出 ○まちづくりとの連携
安全・安心な交通機関	<ul style="list-style-type: none"> ○安全対策の強化 ○災害対策の強化 ○TOEIスマートメンテナンスの実現に向けた取組 ○老朽化した施設・設備の維持更新
脱炭素でエコな移動手段	<ul style="list-style-type: none"> ○モーダルシフトの促進 ○更なる省エネの推進 ○ZEV化の推進 ○再生可能エネルギーの活用 ○水力発電電力の安定的な供給 ○環境に配慮した取組
持続可能な事業運営	<ul style="list-style-type: none"> ○人材確保・プロフェッショナル職員の育成 ○職員が働きやすい職場環境づくり ○事業運営を支える執行体制の構築 ○TOEIスマートステーションの実現に向けた取組 ○不断の経営努力

東京都交通局経営計画について

東京都交通局経営計画及び進捗状況について、交通局ホームページで公表しています。

東京都交通局ホーム > 交通局について > 経営情報 > 経営計画
<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/about/information/plan/>



交通局は以下の三つの会計を設け、地方公営企業法に基づいてそれぞれの事業を經理しています。

- ◆高速電車事業会計
- ・ 都営地下鉄

- ◆交通事業会計
- ・ 都営バス
- ・ 東京さくらトラム
(都電荒川線)
- ・ 日暮里・舎人ライナー

- ◆電気事業会計
- ・ 発電

主要数値 (2024年度)

乗車人員 (4事業合計*)

12.5 億人
対前年度 +0.6億人

営業収益

2,002 億円
対前年度 +94億円

経常損益

238 億円
対前年度 +42億円

職員数 (2025年3月31日)

6,531 名

<内訳>

事務	1,341名
技術	763名
運転	2,787名
地下鉄車掌	296名
鉄道営業	624名
交通技能	633名
その他	87名

* 都営地下鉄、都営バス、東京さくらトラム (都電荒川線) 及び日暮里・舎人ライナーの4事業を指す。

2 経営の状況

以降のページでは、交通局の経営状況を客観的に評価するため、決算の数値に基づいて、財務に関する主要な指標を算定しました。

また、地下鉄路線別収支など、事業別の資料についても掲載しました。

2024年度事業別主要数値(対前年度比)

		都営地下鉄	都営バス	東京さくらトラム (都電荒川線)
乗車人員	年間 (万人)	96,388 (5.8% ↗)	23,091 (4.2% ↗)	1,875 (3.6% ↗)
	一日平均 (万人)	264.1 (6.1% ↗)	63.3 (4.4% ↗)	5.1 (3.9% ↗)
乗車料収入	年間 (億円)	1,356 (4.3% ↗)	378 (4.2% ↗)	24 (3.6% ↗)
	一日平均 (万円)	37,150 (4.6% ↗)	10,349 (4.4% ↗)	645 (3.9% ↗)
経常損益 (億円)		205.6 (25.5億円 ↗)	16.2 (0.0億円 ↘)	2.2 (0.5億円 ↗)
未処分利益剰余金 <△累積欠損金>*(億円)		△1,707.8 (263.8億円 ↗)	△100.8 (16.1億円 ↗)	△7.2 (2.2億円 ↗)

*利益のうち用途を特定していない剰余金(△は補填されずに累積した損失)のことを指します。

2 経営の状況
事業別の状況

		日暮里・舎人 ライナー	発電
			
乗車人員 (販売電力量)	年間 (万人・MWh)	3,476 (5.5% ↑)	128,599 (43.9% ↑)
	一日平均 (万人・kWh)	9.5 (5.8% ↑)	352,327 (44.3% ↑)
乗車料収入 (電力料収入)	年間 (億円)	62 (5.9% ↑)	21 (127.5% ↑)
	一日平均 (万円)	1,696 (6.2% ↑)	564 (128.1% ↑)
経常損益 (億円)		2.5 (3.4億円 ↑)	11.7 (12.7億円 ↑)
未処分利益剰余金 <△累積欠損金> (億円)		△186.5 (2.5億円 ↑)	12.1 (11.8億円 ↑)

2024年度決算情報について

2024年度決算の詳細については、ホームページからダウンロードしてご覧いただけます。

東京都交通局ホーム > 交通局について > 経営情報 > 決算
<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/about/information/closing/>

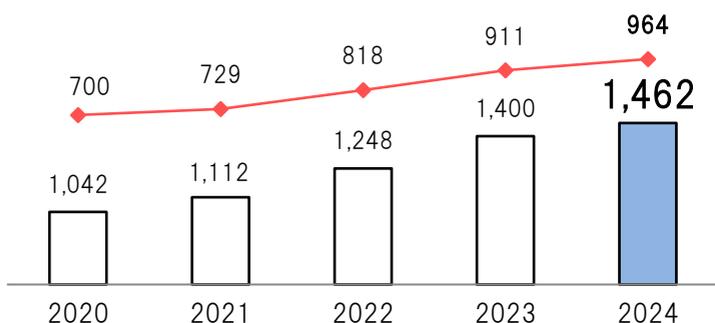


営業収益（2020年度－2024年度）

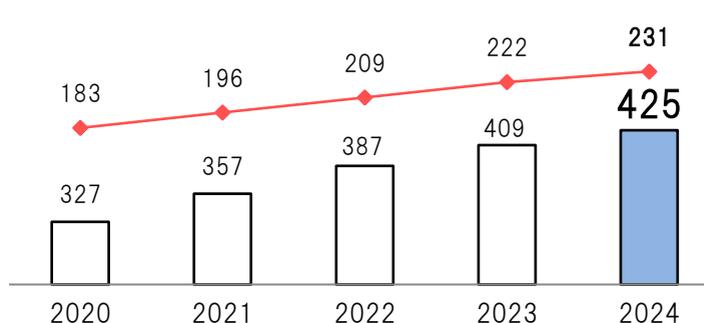
売上に相当し、乗車料、電力料、関連事業収入などが含まれます。

○ 2024年度は、乗車人員の増加などにより、全事業合計の営業収益は2,002億1千1百万円となり、前年度から4.9%増加しました。

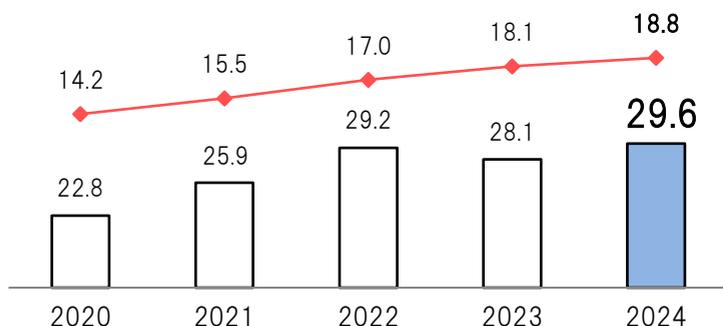
都営地下鉄



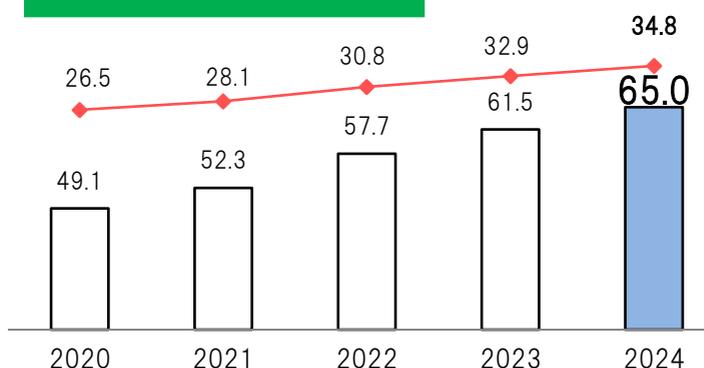
都営バス



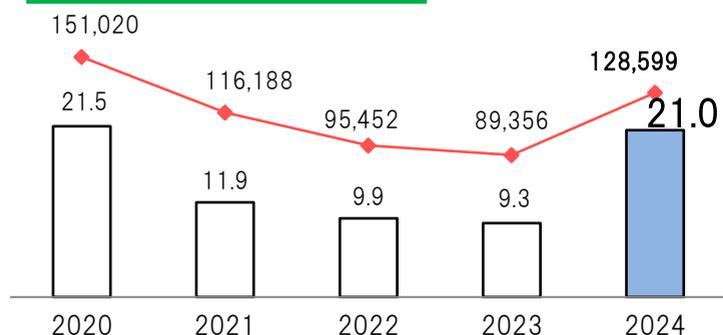
東京さくらトラム (都電荒川線)



日暮里・舎人ライナー



発電



【凡例】

□ 営業収益(億円/年)

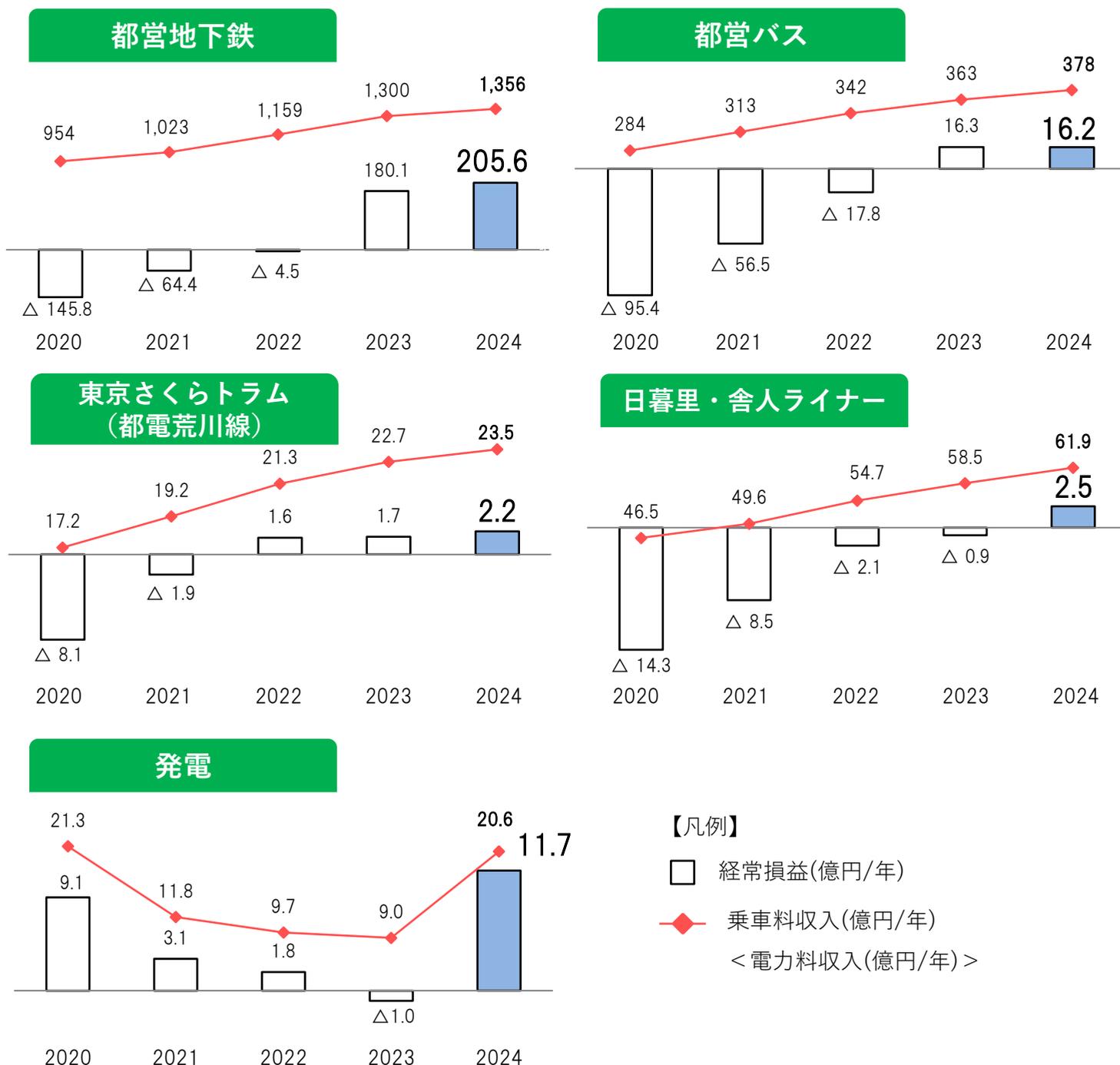
◆ 乗車人員(百万人/年)

< 販売電力量(MWh/年) >

経常損益（2020年度－2024年度）

企業が日常的に行っている業務の中で計上した損益で、本業の損益に補助金による収入や企業債利息の支出等を加えたものです。

○ 2024年度は、乗車料収入の増加などにより、全事業合計の経常損益は238億2千5百万円の黒字となり、前年度から42億4百万円増加しました。



2 経営の状況
損益計算書

損益計算書 (2024年度)

(単位：百万円)

	交通事業会計				高速電車事業会計	電気事業会計	合計	
	都営バス	東京さくらトラム (都電荒川線)	日暮里・舎人ライナー	計	都営地下鉄	発電		
収入	営業収益 ※1	42,470	2,959	6,500	51,930	146,176	2,105	200,211
	営業外収益 ※2	1,946	1,727	1,287	4,960	16,993	64	22,017
	特別利益 ※3	0	-	-	0	5,823	-	5,823
支出	営業費用 ※4	42,265	2,763	6,100	51,127	139,285	990	191,402
	営業外費用 ※5	528	1,703	1,436	3,667	3,324	10	7,000
	特別損失 ※6	13	0	0	13	0	0	13
損益	営業損益 ※7	206	197	400	802	6,892	1,115	8,809
	経常損益 ※8	1,623	221	251	2,096	20,560	1,169	23,825
	純損益 ※9	1,610	221	251	2,083	26,383	1,169	29,635
当年度末未処分利益剰余金	△ 10,076	△ 719	△ 18,653	△ 29,449	△ 170,779	1,210	△ 199,017	

※1 営業収益

乗車料収入（電力料収入）や広告料収入など、営業活動から生じる収益

※2 営業外収益

預金利息や株式配当金、受託工事収入、補助金など、営業活動以外から生じる収益

※3 特別利益

固定資産売却益や過年度損益修正益など、経常的に発生しない臨時的な利益

※4 営業費用

物件費や減価償却費など、営業活動に要する費用

※5 営業外費用

企業債利息や受託工事費など、営業活動以外の活動に要する費用

※6 特別損失

固定資産売却損や過年度損益修正損など、経常的に発生しない臨時的な損失

※7 営業損益

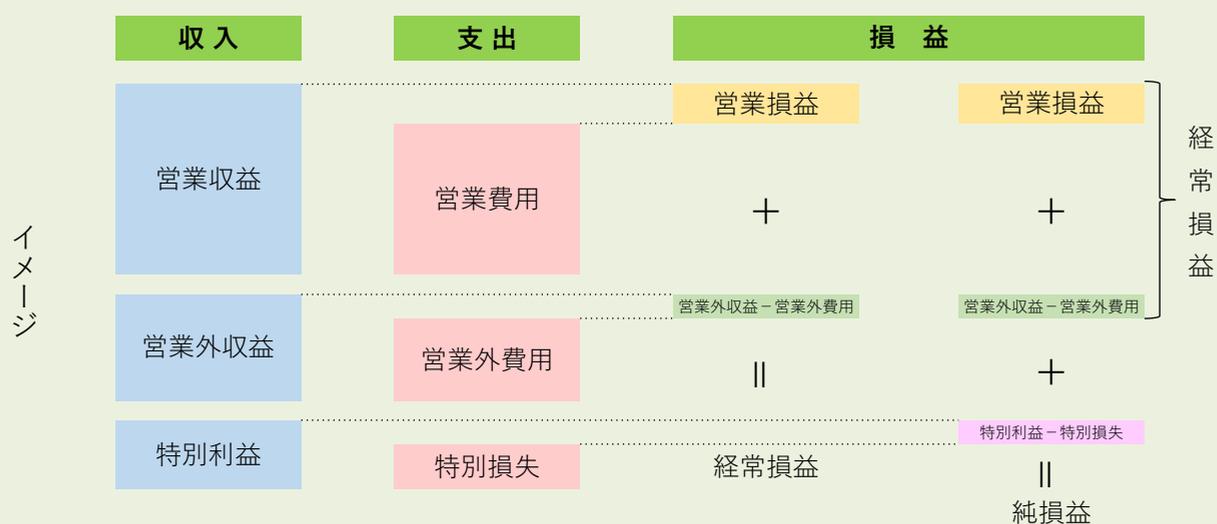
営業収益 - 営業費用

※8 経常損益

営業損益 + 営業外収益 - 営業外費用

※9 純損益

経常損益 + 特別利益 - 特別損失

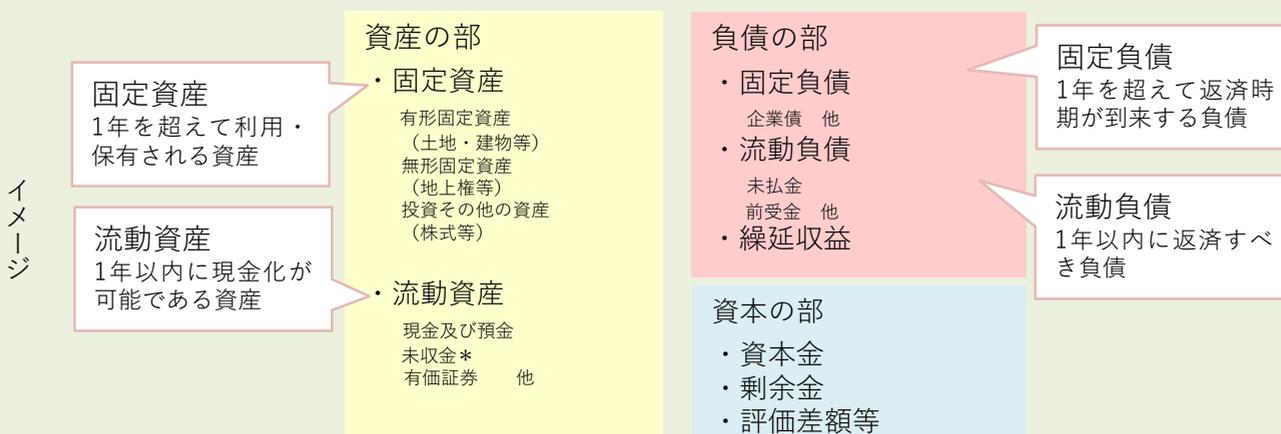


貸借対照表 (2024年度)

(単位：百万円)

高速電車事業会計		交通事業会計		電気事業会計	
固定資産 1,296,039	固定負債 588,092	固定資産 185,909	固定負債 75,044	固定資産 4,055	固定負債 135
	流動負債 67,518		流動負債 21,631		流動負債 652
	繰延収益 369,030		繰延収益 1,261		繰延収益 484
	流動資産 182,014		資本金 524,575	流動資産 37,334	資本金 56,200
	剰余金 △ 71,163		剰余金 67,724		剰余金 8,431
			評価差額等 1,385		

貸借対照表は、企業のある時点における資産・負債・資本を記載し、企業の財政状態を表したものです。左側が事業の財産（資産）を表し、右側が財産を得るための資金を表します。



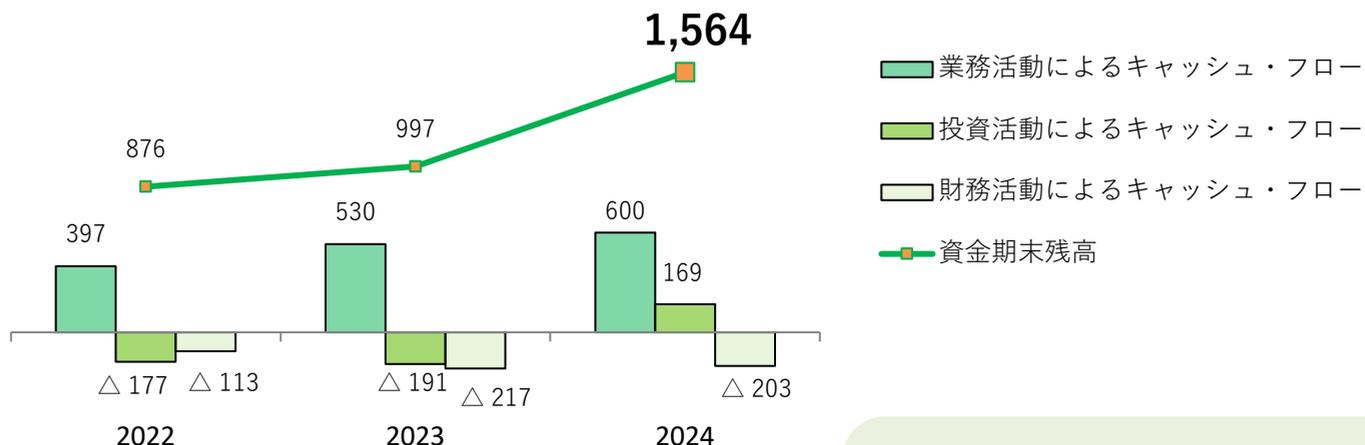
*電気事業会計において、貸倒引当金を計上しています。

貸倒引当金の計上方法：債権の不納欠損による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案した回収不能見込額を計上しています。

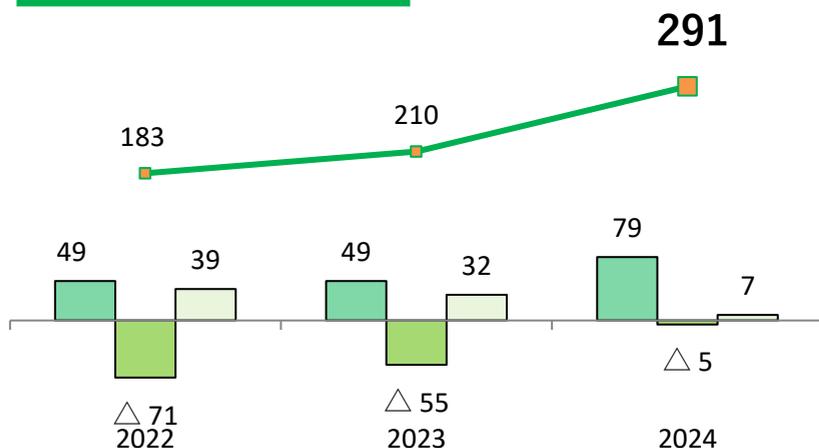
キャッシュ・フロー計算書 (2022-2024年度)

高速電車事業会計

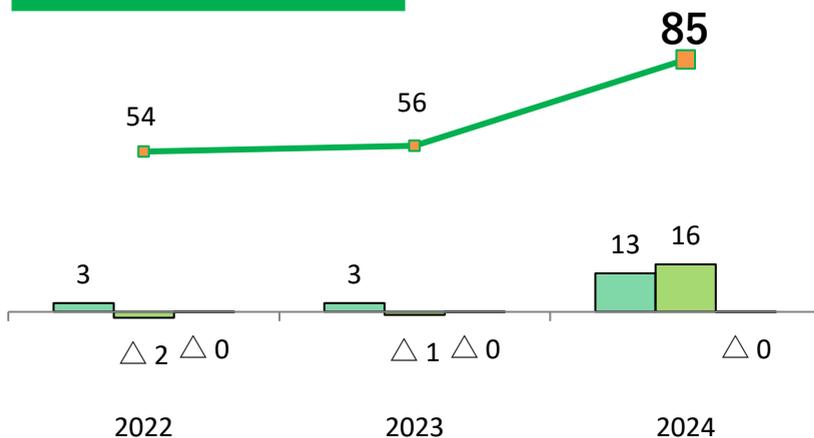
(単位：億円)



交通事業会計



電気事業会計



キャッシュ・フロー計算書は、一事業年度における現預金の動きを、活動区別に表示したものです。

業務活動による キャッシュ・フロー

通常の業務活動の実施による資金の収支や投資活動、財務活動以外の収支を表します。

投資活動による キャッシュ・フロー

通常の業務活動の基礎となる固定資産の取得及び売却の収支を表します。

財務活動による キャッシュ・フロー

増資、減資による収支や資金調達、返済に関する収支を表します。

2 経営の状況
運輸成績表

運輸成績表 (2024年度)

事業名	車両数 期末 (両)	走行キロ 年間 (千km)	乗車人員		乗車料収入	
			年間 (億人)	一日平均 (万人)	年間 (億円)	一日平均 (万円)
都 営 地 下 鉄	1,212	126,364	9.6	264.1	1,356	37,150
浅 草 線	212	21,789	2.7	72.9	313	8,576
三 田 線	248	25,510	2.4	64.6	298	8,161
新 宿 線	280	32,199	2.7	74.0	353	9,678
大 江 戸 線	472	46,865	3.2	88.9	392	10,734
都 営 バ ス	1,453	42,617	2.3	63.3	378	10,349
乗 合	1,448	42,471	2.3	63.2	376	10,297
貸 切	5	146	0.002	0.05	2	51
東京さくらトラム (都電荒川線)	33	1,482	0.2	5.1	24	645
日暮里・舎人 ライナー	100	8,136	0.3	9.5	62	1,696
合 計	2,798	178,599	12.5	342.0	1,819	49,839
発 電	水力発電所 (3か所) 多摩川第一発電所 認可最大出力/19,000kW 多摩川第三発電所 認可最大出力/16,400kW 白丸発電所 認可最大出力/ 1,100kW				販売電力量 128,599MWh 電力料収入 2,057百万円	

(注) 都営地下鉄の乗車人員合計は、自線内相互の乗換人員を1人として計算したものであり、4線の乗車人員の単純合計ではありません。

地下鉄路線別収支状況・駅別一日平均乗降人員（2024年度）

A 浅草線

乗車人員	73 万人／日
乗車料収入	0.9 億円／日
収益の収入	402 億円
収益の支出	249 億円
損益額	153 億円
営業係数	62

（単位：人・％）

順位	駅名	2024年度	前年比
1	日本橋	94,679	7.9
2	新橋	88,540	6.0
3	東銀座	85,509	8.2
4	東日本橋	79,857	5.3
5	押上	61,417	5.9
6	浅草橋	60,025	5.3
7	五反田	59,177	4.6
8	浅草	59,010	5.1
9	人形町	54,690	6.3
10	三田	49,845	10.3
11	大門	47,284	7.7
12	西馬込	43,636	3.8
13	蔵前	42,345	7.9
14	泉岳寺	33,675	10.2
15	宝町	31,022	8.9
16	中延	27,903	5.5
17	馬込	26,346	4.8
18	本所吾妻橋	21,482	5.6
19	戸越	21,299	6.3
20	高輪台	13,969	5.9

I 三田線

乗車人員	65 万人／日
乗車料収入	0.8 億円／日
収益の収入	345 億円
収益の支出	271 億円
損益額	74 億円
営業係数	79

（単位：人・％）

順位	駅名	2024年度	前年比
1	大手町	109,600	9.2
2	巣鴨	88,108	3.1
3	日比谷	85,848	7.3
4	神保町	63,539	6.7
5	白山	48,388	6.5
6	三田	47,377	13.5
7	水道橋	47,236	5.7
8	御成門	43,230	6.1
9	春日	38,090	7.4
10	内幸町	38,025	8.6
11	板橋本町	37,555	6.3
12	板橋区役所前	35,514	6.0
13	千石	31,304	2.9
14	志村坂上	30,150	4.5
15	志村三丁目	30,055	2.1
16	新板橋	29,972	6.1
17	西巣鴨	29,560	4.2
18	芝公園	28,023	5.2
19	高島平	27,789	3.9
20	西台	25,605	5.4
21	本蓮沼	25,190	5.2
22	白金高輪	24,798	5.4
23	目黒	23,827	7.5
24	蓮根	19,363	4.0
25	西高島平	12,970	6.1
26	白金台	10,310	6.7
27	新高島平	9,534	5.4

路線別収支

駅別一日平均乗降人員

2 経営の状況
事業別参考資料 都営地下鉄

S 新宿線

乗車人員	74 万人/日
乗車料収入	1.0 億円/日
収益的収入	394 億円
収益的支出	327 億円
損益額	67 億円
営業係数	83

(単位：人・%)

順位	駅名	2024年度	前年比
1	馬喰横山	112,233	5.7
2	九段下	111,197	6.1
3	新宿	97,330	4.6
4	市ヶ谷	90,108	5.3
5	小川町	73,254	5.9
6	新宿三丁目	72,667	6.6
7	本八幡	72,322	4.0
8	船堀	58,409	2.8
9	瑞江	55,028	4.1
10	岩本町	52,330	4.9
11	神保町	47,468	6.4
12	一之江	43,043	3.6
13	住吉	41,577	4.4
14	篠崎	39,512	3.3
15	曙橋	36,403	3.2
16	大島	31,661	3.2
17	東大島	30,424	3.2
18	西大島	27,698	3.6
19	菊川	24,573	6.2
20	森下	23,581	4.9
21	浜町	21,447	3.7

E 大江戸線

乗車人員	89 万人/日
乗車料収入	1.1 億円/日
収益的収入	548 億円
収益的支出	579 億円
損益額	△31 億円
営業係数	106

(単位：人・%)

順位	駅名	2024年度	前年比
1	勝どき	91,189	12.5
2	六本木	83,043	4.3
3	門前仲町	81,017	7.0
4	練馬	78,323	5.2
5	新宿	75,816	4.9
6	月島	69,362	5.6
7	青山一丁目	68,934	6.4
8	大門	60,176	6.3
9	新御徒町	58,639	8.2
10	光が丘	56,838	3.4
11	上野御徒町	56,630	7.0
12	新宿西口	53,643	4.0
13	都庁前	49,779	8.2
14	清澄白河	40,727	6.6
15	中野坂上	40,469	6.2
16	汐留	39,331	12.4
17	蔵前	37,966	10.9
18	赤羽橋	37,465	9.4
19	東新宿	37,339	3.8

順位	駅名	2024年度	前年比
20	両国	34,318	7.2
21	代々木	32,870	6.9
22	西新宿五丁目	32,776	5.5
23	麻布十番	32,029	4.3
24	新江古田	28,904	4.4
25	若松河田	28,849	3.8
26	飯田橋	28,807	6.5
27	春日	27,187	6.2
28	落合南長崎	27,118	4.6
29	東中野	25,362	4.8
30	中井	25,182	5.1
31	築地市場	23,281	0.6
32	練馬春日町	22,655	4.4
33	本郷三丁目	22,043	7.0
34	牛込柳町	19,954	1.1
35	森下	14,803	5.5
36	豊島園	14,294	5.7
37	国立競技場	13,711	7.4
38	牛込神楽坂	13,686	3.4

(注)

- 1 2024年度決算値をもとに推計しています。
- 2 収入及び支出は、全体の金額を営業キロ等で各路線に配分しています。
- 3 乗車人員は、乗車券の発売等のデータをもとに推計しています。
- 4 営業係数は、その路線が100円の収入を得るために、どれだけの支出が必要かを示す数値です。
支出÷収入×100で算出し、営業係数100未満が黒字、100を超えると赤字です。
- 5 推計方法の見直し等により、今後、数値が改定される場合があります。

バス系統別収支状況 (2024年度)

	系統番号	区 間	乗車人員	乗車料収入	損益額	営業係数
			(人/日)	(千円/日)	(千円)	
1	東22	錦糸町駅前～東京駅丸の内北口	18,142	2,886	313,952	73
2	都07	錦糸町駅前～門前仲町	21,499	3,290	306,975	77
3	都02	大塚駅前～錦糸町駅前	20,642	3,350	224,608	84
4	新小21	西葛西駅前～新小岩駅前	14,351	2,254	219,521	76
5	品99	品川駅港南口～(品川埠頭循環)～品川駅港南口	9,566	1,664	211,918	69
6	錦25	葛西駅前～錦糸町駅前	16,828	2,576	206,529	81
7	北47	足立清掃工場前～北千住駅前	10,525	1,751	172,099	76
8	上58	早稲田～上野松坂屋前	11,341	1,816	157,749	79
9	上69	小滝橋車庫前～(上野公園循環)～小滝橋車庫前	7,301	1,214	129,710	74
10	田87	渋谷駅前～田町駅前	10,817	1,840	121,967	84
11	都08	日暮里駅前～錦糸町駅前	11,765	1,899	121,731	85
12	都05	晴海埠頭～東京駅丸の内南口	18,604	3,268	119,930	91
13	白61	練馬車庫前～新宿駅西口	13,617	2,319	119,356	88
14	王57	赤羽駅東口～豊島五丁目団地	10,286	1,657	112,414	84
15	草63	池袋駅東口～浅草寿町(往路)、雷門一丁目(復路)	12,642	2,061	110,136	87
16	葛西21	葛西駅前～葛西臨海公園駅前	7,573	1,204	100,398	80
17	東42	南千住車庫前～東京駅八重洲口	9,705	1,589	98,135	85
18	東16	東京駅八重洲口～東京ビッグサイト	10,146	1,774	93,817	87
19	上46	南千住駅東口～上野松坂屋前	7,749	1,232	88,308	83
20	新小22	葛西駅前～新小岩駅前	9,071	1,416	87,380	85
21	池86	池袋駅東口～(渋谷駅東口循環)～池袋駅東口	8,773	1,434	84,476	86
22	臨海28	一之江橋西詰～葛西臨海公園駅前	9,691	1,575	63,977	90
23	飯64	小滝橋車庫前～(九段下循環)～小滝橋車庫前	5,216	877	61,220	83
24	門33	亀戸駅前～豊海水産埠頭	8,209	1,278	60,602	89
25	池65	練馬車庫前～池袋駅東口	5,545	932	58,544	85

2 経営の状況
事業別参考資料 都営バス

	系統番号	区 間	乗車人員 (人/日)	乗車料収入 (千円/日)	損益額 (千円)	営業係数
26	王40	池袋駅東口～西新井駅前	21,065	3,429	52,200	96
27	里22	日暮里駅前～亀戸駅前	7,477	1,169	39,341	92
28	王55	王子駅前～新田一丁目	7,139	1,154	36,773	92
29	学06	恵比寿駅前～日赤医療センター前	3,384	479	29,800	85
30	西葛20	西葛西駅前～なぎさニュータウン	5,967	949	27,985	93
31	端44	北千住駅前～駒込病院前	5,793	959	26,940	93
32	亀21	東陽町駅前～亀戸駅前	5,263	804	26,181	92
33	業10	新橋～とうきょうスカイツリー駅前	14,483	2,346	22,751	98
34	葛西24	船堀駅前～なぎさニュータウン	4,310	670	20,311	93
35	草41	足立梅田町～浅草寿町	5,531	889	19,824	95
36	新小29	葛西駅前～東新小岩四丁目	5,524	876	16,983	95
37	錦18	錦糸町駅前～新木場駅前	3,686	593	16,645	90
38	西葛27	西葛西駅前～臨海町二丁目団地前	3,845	598	12,911	95
39	亀29	なぎさニュータウン～亀戸駅前	6,762	1,018	11,661	97
40	秋26	葛西駅前～秋葉原駅前	5,818	915	9,079	98
41	井92	大井町駅東口～(八潮パークタウン循環)～大井町駅東口	4,501	734	7,919	97
42	草39	金町駅前～上野松坂屋前	5,559	886	6,990	98
43	平28	東大島駅前～(平井駅前循環)～東大島駅前	1,603	253	3,390	97
44	錦22	臨海車庫～錦糸町駅前	865	135	2,410	96
45	東15	深川車庫前～東京駅八重洲口	3,446	589	2,262	99
46	錦28	東大島駅前～錦糸町駅前	4,127	648	1,305	100
47	王45	王子駅前～北千住駅前	1,916	316	683	99
48	FL01	葛西駅前～錦糸町駅前	1,092	166	△1,383	106
49	早77	早稲田～新宿駅西口	2,725	453	△2,104	101
50	王78	新宿駅西口～王子駅前	5,631	938	△2,416	101

2 経営の状況
事業別参考資料 都営バス

	系統番号	区 間	乗車人員 (人/日)	乗車料収入 (千円/日)	損益額 (千円)	営業係数
51	CH01	新宿駅西口～(都庁第一本庁舎循環)～新宿駅西口	895	159	△ 2,923	106
52	都06	渋谷駅前～新橋駅前	9,804	1,707	△ 4,963	101
53	亀23	亀戸駅前～(江東高齢者医療センター循環)～亀戸駅前	2,113	332	△ 5,402	104
54	飯62	小滝橋車庫前～都営飯田橋駅前	349	56	△ 6,124	125
55	亀26	今井～亀戸駅前	3,042	459	△ 6,770	103
56	豊洲01	豊洲駅前～(豊洲一丁目・豊洲駅前・キャナルコート循環)～豊洲駅前	602	104	△ 7,461	123
57	臨海22	臨海車庫～船堀駅前	533	83	△ 8,584	123
58	急行05	錦糸町駅前～日本科学未来館	3,999	672	△ 9,435	110
59	陽20	東陽町駅前～東大島駅前	691	106	△ 10,114	122
60	田92	品川駅港南口～田町駅東口	678	119	△ 10,477	124
61	品93	大井競馬場前～目黒駅前	8,314	1,420	△ 10,615	102
62	上01	東大構内～(上野公園山下循環)～東大構内	922	165	△ 10,842	115
63	茶51	駒込駅南口～秋葉原駅前	2,193	374	△ 11,240	107
64	品96	品川駅港南口～りんかい線天王洲アイル駅前	2,123	393	△ 11,301	107
65	学02	高田馬場駅前～早大正門	3,056	476	△ 11,360	106
66	渋66	阿佐ヶ谷駅前～渋谷駅前	3,091	541	△ 11,513	105
67	錦37	青戸車庫前～錦糸町駅前	4,396	696	△ 11,522	104
68	練68	練馬駅～目白駅	147	24	△ 11,693	232
69	亀24	葛西橋～亀戸駅前	4,374	669	△ 11,969	104
70	反94	五反田駅～赤羽橋駅前	207	36	△ 12,801	172
71	茶07	東大構内～(御茶ノ水駅前循環)～東大構内	730	137	△ 13,431	122
72	草64	池袋駅東口～浅草雷門南	6,754	1,090	△ 14,240	103
73	田99	品川駅港南口～田町駅東口	203	33	△ 14,584	187
74	錦40	南千住駅東口～錦糸町駅前	724	115	△ 14,704	129
75	新小20	東新小岩四丁目～一之江駅前	555	92	△ 14,803	135

2 経営の状況
事業別参考資料 都営バス

	系統番号	区 間	乗車人員 (人/日)	乗車料収入 (千円/日)	損益額 (千円)	営業係数
76	井 9 8	大井町駅東口～大井水産物埠頭前	1,036	191	△ 15,690	123
77	西葛 2 6	船堀駅前～葛西臨海公園駅前	668	104	△ 15,829	134
78	錦 1 3	錦糸町駅前～晴海埠頭	9,231	1,466	△ 16,197	103
79	井 9 6	大井町駅東口～(天王洲アイル循環)～大井町駅東口	533	90	△ 19,265	145
80	都 0 4	豊海水産埠頭～東京駅丸の内南口	6,276	1,093	△ 19,681	104
81	錦 1 1	錦糸町駅前～築地駅前	1,847	306	△ 19,759	115
82	上 6 0	池袋駅東口～上野公園	1,637	274	△ 21,349	118
83	錦 2 7	小岩駅前～両国駅前	4,737	741	△ 21,447	107
84	船 2 8	船堀駅前～篠崎駅前	421	66	△ 22,150	170
85	品 9 1	品川駅港南口～(八潮パークタウン循環)～品川駅港南口	3,956	671	△ 23,410	108
86	草 4 3	足立区役所～浅草雷門	2,167	341	△ 23,939	116
87	王 4 1	王子駅前～新田一丁目	2,881	465	△ 24,559	112
88	R H 0 1	渋谷駅前～六本木ヒルズ	1,052	196	△ 24,661	128
89	両 2 8	葛西橋～両国駅前	2,890	448	△ 24,974	113
90	草 2 4	東大島駅前～浅草寿町	1,650	255	△ 25,325	122
91	橋 6 3	小滝橋車庫前～新橋駅前	3,369	561	△ 25,635	110
92	学 0 5	目白駅前～(日本女子大循環)～目白駅前	2,227	250	△ 26,037	133
93	宿 9 1	新代田駅前～新宿駅西口	2,522	424	△ 26,116	114
94	葛西 2 2	葛西駅前～一之江駅前	878	138	△ 26,556	142
95	上 2 6	亀戸駅前～上野公園	2,007	321	△ 28,800	120
96	東 4 3	荒川土手操車所前～東京駅丸の内北口	7,845	1,276	△ 31,935	106
97	黒 7 7	目黒駅前～千駄ヶ谷駅前	2,465	422	△ 32,262	117
98	門 1 9	深川車庫前～門前仲町	2,279	373	△ 33,107	120
99	上 2 3	平井駅前～上野松坂屋前	5,238	826	△ 34,917	110
100	門 2 1	東大島駅前～門前仲町	1,950	299	△ 36,141	127

2 経営の状況
事業別参考資料 都営バス

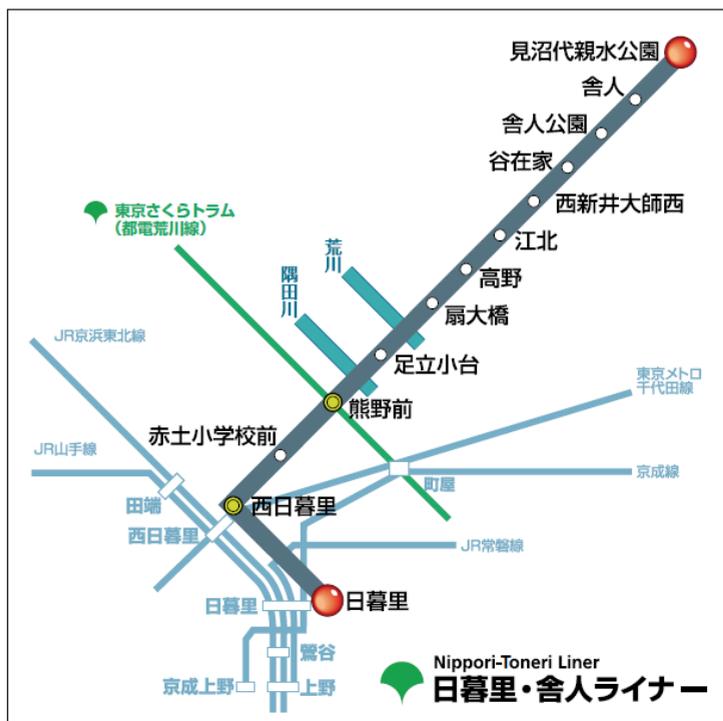
	系統番号	区 間	乗車人員 (人/日)	乗車料収入 (千円/日)	損益額 (千円)	営業係数
101	品97	品川駅高輪口～新宿駅西口	5,793	971	△ 36,158	109
102	平23	葛西駅前～平井駅前	1,901	292	△ 36,159	128
103	浜95	品川車庫前～東京タワー	785	136	△ 37,894	158
104	渋88	渋谷駅前～新橋駅前	1,980	349	△ 38,693	124
105	都01	渋谷駅前～新橋駅前	10,763	1,950	△ 40,066	105
106	学03	渋谷駅前～日赤医療センター前	5,695	764	△ 43,099	113
107	高71	高田馬場駅前～九段下	1,644	271	△ 43,253	134
108	海01	門前仲町～東京テレポート駅前	11,192	1,776	△ 43,598	106
109	梅77	裏宿町～河辺駅北口	955	155	△ 44,140	160
110	反96	五反田駅～六本木ヒルズ	3,189	554	△ 45,153	118
111	波01	東京テレポート駅前～中央防波堤	1,461	238	△ 46,063	154
112	宿74	新宿駅西口～東京女子医大前	1,483	248	△ 46,361	140
113	梅76	裏宿町～上成木	1,702	237	△ 49,391	144
114	都03	晴海五丁目ターミナル～四谷駅	1,029	176	△ 51,800	162
115	宿75	新宿駅西口～三宅坂	805	136	△ 53,535	178
116	梅74	裏宿町～（成木循環）～裏宿町	610	91	△ 53,597	211
117	木11	木場駅前～（東京テレポート・新木場三丁目循環）～東陽町駅前	5,716	971	△ 60,198	114
118	市01	新橋駅前～豊洲市場	2,150	379	△ 62,344	144
119	王49	千住車庫前～王子駅前	5,327	858	△ 65,158	118
120	早81	早大正門～（渋谷駅東口循環）～早大正門	1,350	229	△ 65,343	159
121	橋86	目黒駅前～新橋駅前	1,645	277	△ 71,915	155
122	陽12	東陽町駅前～昭和大学江東豊洲病院前	3,458	535	△ 76,507	145
123	品98	品川駅港南口～大田市場	3,852	694	△ 102,375	133
124	里48	日暮里駅前～見沼代親水公園駅前	731	123	△ 114,588	259
125	梅70	青梅車庫前～花小金井駅北口	2,768	537	△ 206,305	181

(注)

- 1 全系統を損益額順に並べています。
- 2 運行受託路線は除きます。
- 3 2024年度決算値をもとに推計しています。
- 4 収入は、全体の金額を乗車人員等で各系統に配分しています。
支出は、全体の金額を年間の走行距離等で各系統に配分しています。
- 5 乗車人員は、ICカードの実績等のデータをもとに推計しています。
- 6 営業係数は、その系統が100円の収入を得るために、どれだけの支出が必要かを示す数値です。
支出÷収入×100で算出し、営業係数100未満が黒字、100を超えると赤字です。

日暮里・舎人ライナー駅別一日平均乗降人員 (2024年度)

(単位：人・%)



順位	駅名	2024年度	前年比
1	日暮里	55,411	6.4
2	西日暮里	33,480	4.8
3	見沼代親水公園	13,889	4.8
4	江北	12,958	2.6
5	西新井大師西	12,405	4.7
6	谷在家	11,064	4.6
7	扇大橋	10,663	7.6
8	舎人	9,542	4.3
9	熊野前	9,390	7.7
10	高野	6,635	6.9
11	舎人公園	5,729	18.9
12	赤土小学校前	5,630	5.9
13	足立小台	3,685	2.5

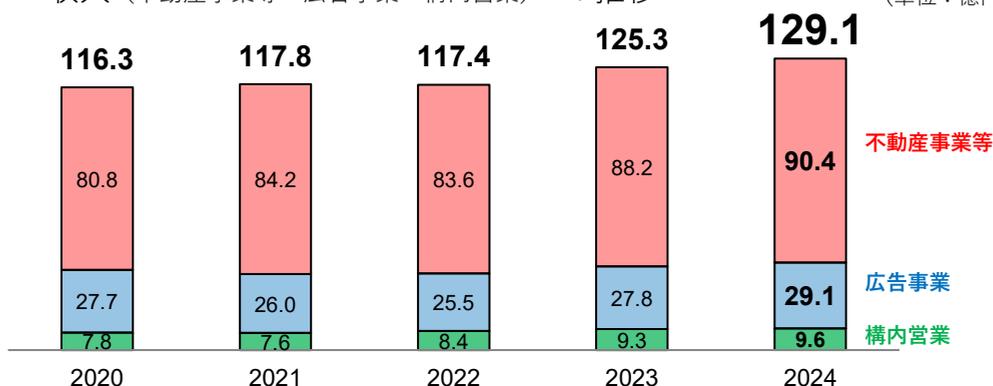
関連事業について

関連事業とは、都営地下鉄、都営バス等の本来事業の経営基盤の強化に寄与し、質の高いサービスを提供するために、土地、建物などの資産の有効活用や広告事業、構内営業等を展開し、長期的に安定した収入を確保する事業です。

収入
(不動産事業等・
広告事業・構内営業)

129.1 億円

収入 (不動産事業等・広告事業・構内営業) *の推移 (単位: 億円)



* 関連事業のうち、不動産事業等、広告事業、構内営業に係る収入を計上しており、PASMO電子マネー手数料、地上自動販売機設置料、意匠許諾料等のその他収入は除く。

不動産事業等

事業跡地や鉄道高架下などの土地を、ビル・店舗・駐車場等の用地として、また、駅出入口ビル、局隣接地との共同開発等により建設したオフィスビルなどの貸付けを行い、賃貸料収入を得ています。

このほか、通信事業者に対し、駅やトンネル内への携帯電話等のアンテナ・基地局設置スペースの提供、光ファイバーケーブルの貸付けを行い収入を得ています。

収入 90.4 億円

(内訳)

- ・都営地下鉄 51.3 億円
- ・都営バス 34.4 億円
- ・東京さくらトラム 3.7 億円
(都電荒川線)
- ・日暮里・舎人ライナー 0.9 億円
- ・発電 0.1 億円

- <土地> 建物敷地 (オフィス・商業ビル)
店舗敷地
駐車場、駐輪場
- <建物> 共同ビル (目黒セントラルスクエア、ラティス
青山スクエア、東京交通会館、有楽
町駅前ビル“イトシア”)
駅出入口ビル (代々木クリスタルビル)
- <構築物> 光ファイバーケーブル
携帯電話、WiMAX基地局



東京交通会館



有楽町駅前ビル (イトシア)



目黒セントラルスクエア

広告事業

地下鉄、バス、東京さくらトラム（都電荒川線）、日暮里・舎人ライナーにおける車両や駅、停留所等を活用し、ポスターやステッカー、デジタル広告などの販売により広告料収入を得ています。

近年では、地下鉄車内液晶モニターの増設や駅構内デジタルサイネージの導入などに努めています。

(主な媒体)

- <車両媒体>
 - 中づくりポスター
 - まど上ポスター
 - 車内液晶モニター
 - ラッピングバス
- <駅媒体>
 - 駅ばりポスター
 - 電飾ボード
 - 駅構内デジタルサイネージ
- <停留所>
 - 広告付きバス停留所

収入 29.1 億円

- (内訳)
- ・都営地下鉄 22.1 億円
 - ・都営バス 5.8 億円
 - ・東京さくらトラム (都電荒川線) 0.7 億円
 - ・日暮里・舎人ライナー 0.5 億円

* 0.1億円未満の事業は除く



車内液晶モニター



駅構内デジタルサイネージ



ラッピングバス

構内営業

駅構内に店舗や自動販売機、期間限定ショップ、金融機関ATM、宅配受取ロッカーなどの様々な施設を設けて、お客様の利便性向上を図るとともに、構内営業料収入を得ています。

- <店舗・売店>
 - コンビニエンスストア
 - カフェ
 - 期間限定ショップ
- <サービス機器>
 - 飲料自動販売機
 - 金融機関ATM
 - コインロッカー
 - 宅配受取ロッカー

収入 9.6 億円

- (内訳)
- ・都営地下鉄 9.5 億円
 - ・日暮里・舎人ライナー 0.1 億円



カフェ



期間限定ショップ



飲料自動販売機



コインロッカー



宅配受取ロッカー

3 経営指標比較
比較対象団体

3 経営指標比較

交通局の経営状況について、公表数値を使用して経営指標を算出し、交通局と同じ事業を運営する他団体（都市）の平均値との比較・分析を行いました。

◆ 比較対象団体

事業名	団体	団体数
高速電車事業/ 都営地下鉄	札幌市 仙台市 東京都 横浜市 名古屋市 京都市 神戸市 福岡市	8
自動車運送事業/ 都営バス	青森市 八戸市 仙台市 東京都 三宅村 八丈町 横浜市 川崎市 伊那市 名古屋市 京都市 高槻市 神戸市 伊丹市 松江市 宇部市 徳島市 北九州市 佐賀市 長崎県 鹿児島市 沖永良部バス企業団 【廃止】 (2019年度) 佐世保市 【運行休止】 (2020年度) 南アルプス市	22
軌道事業/ 東京さくらトラム (都電荒川線)	函館市 東京都 熊本市 鹿児島市 【運行事業移管】 (2020年度) 札幌市	4
新交通事業/ 日暮里・舎人 ライナー ※懸垂電車事業含む	東京都	1
電気事業/ 発電	北海道 美瑛町 寿都町 岩手県 秋田県 山形県 美浦村 栃木県 群馬県 東京都 神奈川県 新潟県 富山県 山梨県 長野県 京都府 兵庫県 鳥取県 北栄町 島根県 岡山県 山口県 徳島県 愛媛県 高知県 福岡県 熊本県 大分県 豊後大野市 宮崎県 【事業譲渡】 (2022年度) 金沢市 【廃止】 (2023年度) 三重県	30

(注)

- 1 他団体の使用数値は、総務省「地方公営企業決算状況調査」（令和元年度～令和5年度）によります。
- 2 新交通事業の数値には懸垂電車事業の数値も含まれます（懸垂電車事業は2019年11月11日から運行休止、2023年12月27日廃止）。
- 3 各指標の「平均値」は上記の表の団体の平均です（団体数は令和5年度の数値）。

3 経営指標比較 使用する指標

◆使用する指標

指標	算出式	単位	指標の説明
営業収支比率	$\frac{\text{営業収益}}{\text{営業費用}} \times 100$	%	当該年度において料金収入等の営業活動から生じる収益で、人件費や燃料費、発電費等の営業費用をどの程度賄えているかを表します。100%を超える場合、単年度の営業収支が黒字であることを示します。
経常収支比率	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	%	当該年度において料金収入や一般会計からの繰入金等の収益で、人件費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表します。100%を超える場合、単年度の経常収支が黒字であることを示します。
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	%	短期的な債務に対する支払能力を表します。100%以上の場合、現金や1年以内に現金化できる資産で、1年以内に支払うべき債務を賄うことができることを示します。
累積欠損金比率	$\frac{\text{当年度未処理欠損金}}{\text{営業収益}} \times 100$	%	事業の規模に対する累積欠損金（営業活動により生じた損失で、前年度からの繰越利益剰余金等でも補填することができず、複数年度にわたって累積した損失のこと。）の状況を表します。
利用者1回当たり 運行経費	$\frac{\text{経常費用}}{\text{年間輸送人員}}$	円	地下鉄やバス等の運行において、利用者1人に1回利用していただくのに費用がどれだけ掛かっているかを表します。
他会計負担 比率	$\frac{\text{（他会計補助金} + \text{他会計負担金）}}{\text{経常費用}} \times 100$	%	人件費や支払利息等の費用が一般会計等の負担によってどの程度賄われているかを表します。
企業債残高対 料金収入比率	$\frac{\text{企業債年度末残高}}{\text{料金収入}} \times 100$	%	料金収入に対する企業債（債券発行による、主に施設整備や資産取得のための借入れ）残高の割合です。
有形固定資産 減価償却率	$\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{有形償却資産帳簿原価}} \times 100$	%	有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表します。一般的に、数値が100%に近いほど、保有資産が法定耐用年数に近づいていることから、計画的な施設の更新等を検討する必要があるとされています。
走行キロ当たりの 収入	$\frac{\text{経常収益}}{\text{年間客車走行キロ}}$	円	運行1キロ当たりでどれだけの収入を上げられているかを表します。
走行キロ当たりの 運送原価	$\frac{\text{経常費用}}{\text{年間客車走行キロ}}$	円	運行1キロ当たりでどれだけの費用が掛かっているかを表します。
走行キロ当たりの 人件費	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{年間客車走行キロ}}$	円	運行1キロ当たりでどれだけの人件費が掛かっているかを表します。
乗車効率	$\frac{\text{延人キロ}}{\text{（年間客車走行キロ} \times \text{平均乗車定員数）}} \times 100$	%	車両1台の乗車定員に対する平均輸送人員の割合であり、定員当たりでどの程度乗車しているかを表します。
供給原価 ※発電のみ	$\frac{\text{（経常費用} - \text{長期前受金戻入）}}{\text{（年間発電電力量} - \text{自家発電電力量）}}$	円	販売電力量1KWh当たりでどれだけの費用が掛かっているかを表します。
設備利用率 ※発電のみ	$\frac{\text{年間発電電力量}}{\text{（最大出力} \times \text{24h} \times \text{365日）}} \times 100$	%	最大出力で1年間発電し続けた場合に得られる電力量に対する実際に発電した年間発電量の割合です。どのような発電設備も定期点検があり、設備利用率は100%にはなりません。
修繕費比率 ※発電のみ	$\frac{\text{修繕費}}{\text{（営業費用} - \text{職員給与費）}} \times 100$	%	営業費用（職員給与費を除く）のうち、施設のメンテナンス等に掛かっている費用の割合を表します。



高速電車事業 / 都営地下鉄

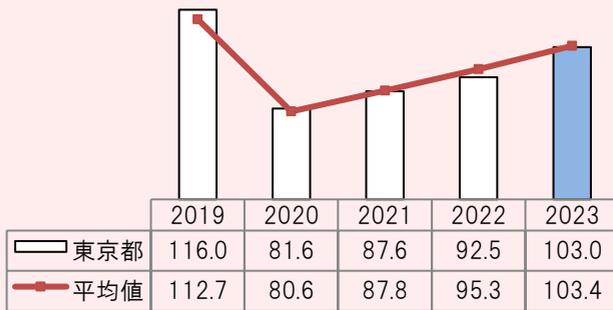
都営地下鉄は、浅草線・三田線・新宿線・大江戸線の4路線を営業し、2023年度は、一日平均約249万人のお客様にご利用いただきました。

経営の健全性

- 「経常収支比率」は2021年度に上昇に転じ、2023年度は100%を上回っています。
- 「流動比率」は100%以上を維持しており、平均値よりも高くなっています。
- 「企業債残高対料金収入比率」は料金収入の増加により減少しており、平均値よりも低くなっています。

営業収支比率 (%)

103.0%



経常収支比率 (%)

113.0%



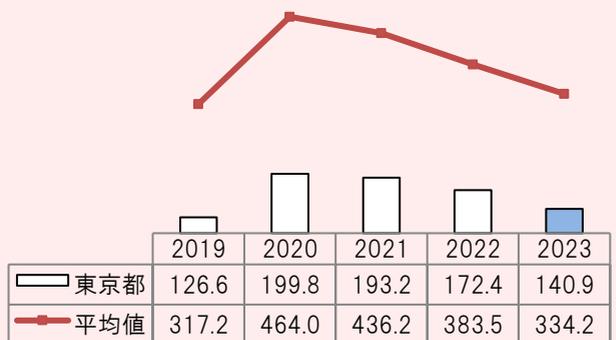
流動比率 (%)

251.0%



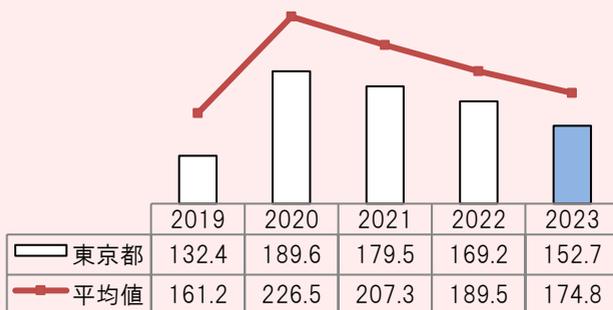
累積欠損金比率 (%)

140.9%



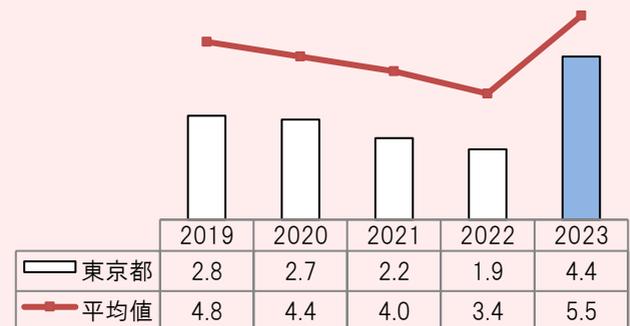
利用者1回当たり 運行経費 (円)

152.7円



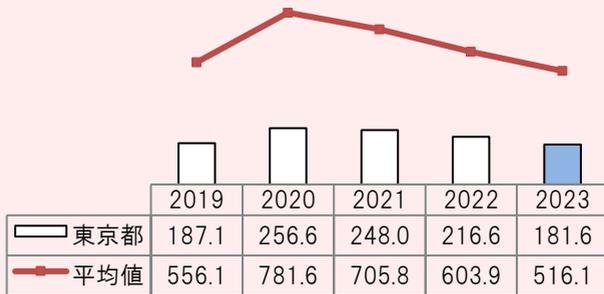
他会計負担比率 (%)

4.4%



企業債残高対料金
収入比率 (%)

181.6%



有形固定資産
減価償却率 (%)

52.7%

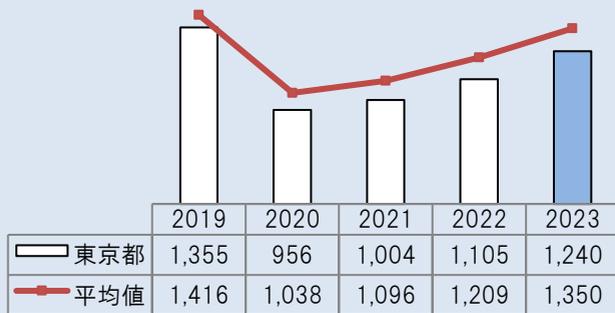


経営の
効率性

- 「走行キロ当たりの収入」は平均値よりも低い一方で、「走行キロ当たりの運送原価」も平均値よりも低くなっています。
- 「乗車効率」は平均値よりも高くなっています。

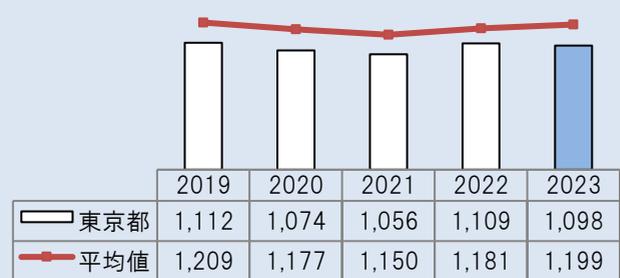
走行キロ当たり
の収入 (円)

1,240円



走行キロ当たり
の運送原価 (円)

1,098円



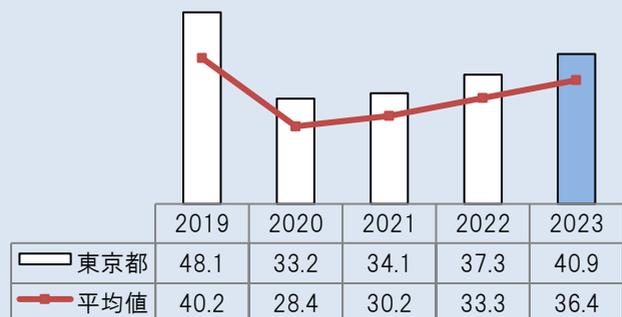
走行キロ当たり
の人件費 (円)

283円



乗車効率 (%)

40.9%





自動車運送事業 / 都営バス

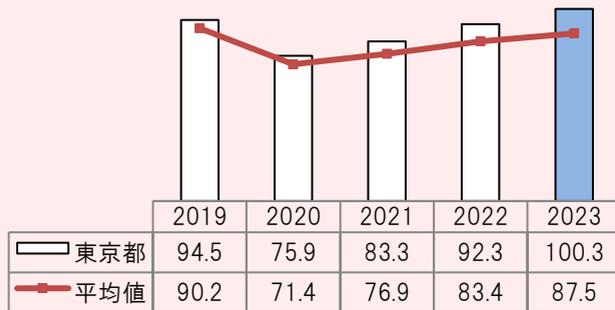
都営バスは、主に東京都のJR山手線と荒川とに囲まれた地域の内側及び江戸川区の一部並びに多摩地域の一部で運行しており、2023年度は、一日平均約61万人のお客様にご利用いただきました。

経営の健全性

- 「経常収支比率」は2021年度に上昇に転じ、2023年度は100%を上回っています。
- 「流動比率」は100%以上を維持しており、平均値よりも高くなっています。
- 「企業債残高対料金収入比率」は料金収入の増加により2022年度に減少に転じたものの、平均値よりも高くなっています。

営業収支比率 (%)

100.3%



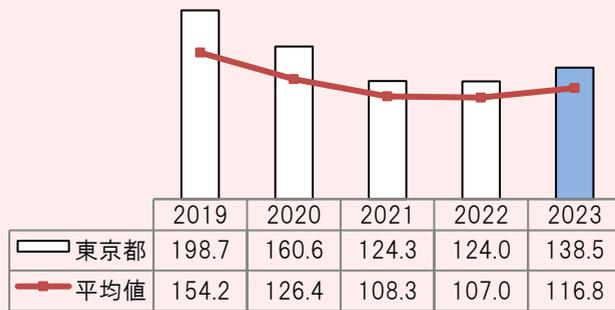
経常収支比率 (%)

103.9%



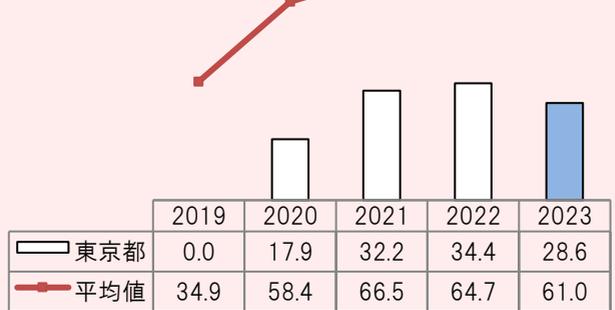
流動比率 (%)

138.5%



累積欠損金比率 (%)

28.6%



利用者1回当たり 運行経費 (円)

185.7円



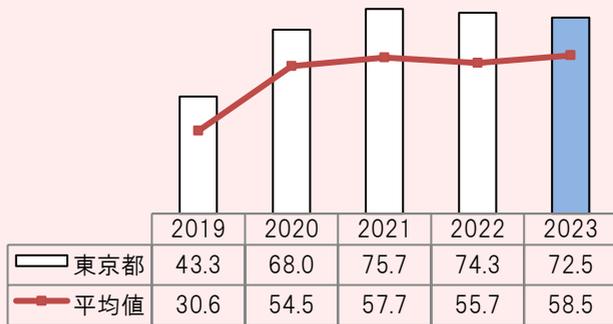
他会計負担比率 (%)

2.8%



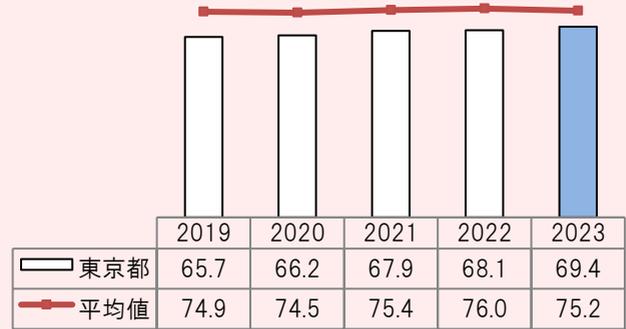
企業債残高対料金
収入比率 (%)

72.5%



有形固定資産
減価償却率 (%)

69.4%

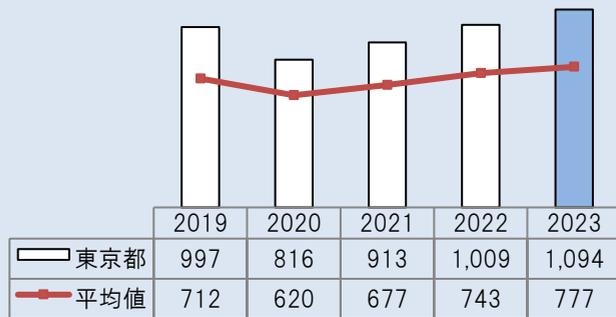


経営の
効率性

- 「走行キロ当たりの収入」は平均値よりも高くなっていますが、「走行キロ当たりの運送原価」も平均値よりも高くなっています。
- 「乗車効率」は平均値よりも高くなっています。

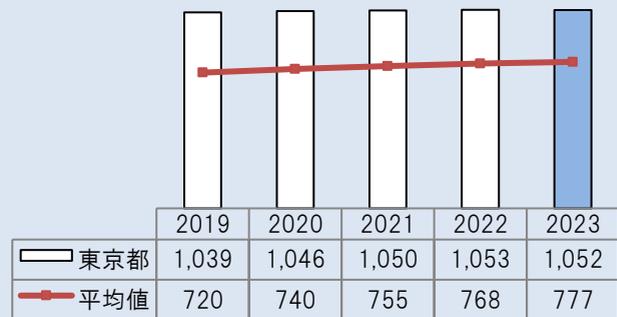
走行キロ当たり
の収入 (円)

1,094円



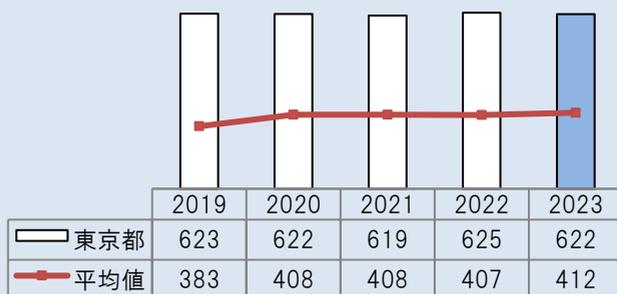
走行キロ当たり
の運送原価 (円)

1,052円



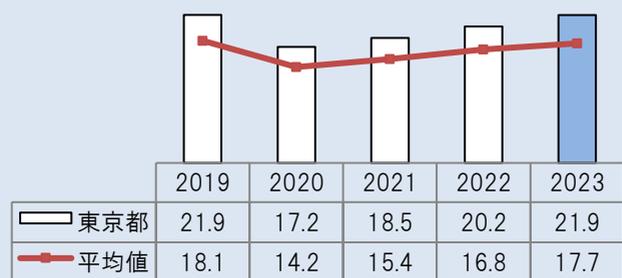
走行キロ当たり
の人件費 (円)

622円



乗車効率 (%)

21.9%





軌道事業/東京さくらトラム（都電荒川線）

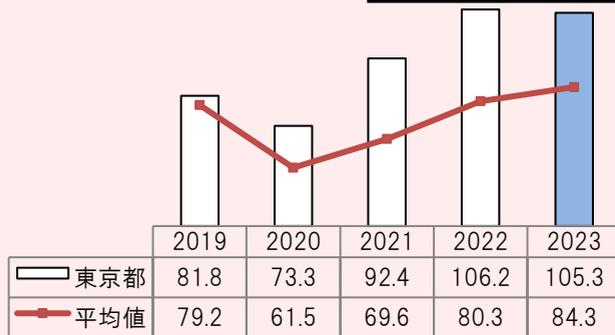
東京さくらトラム（都電荒川線）は、三ノ輪橋～早稲田間12.2kmを運行しており、2023年度は、一日平均約5万人のお客様にご利用いただきました。

経営の健全性

- 「経常収支比率」は100%を上回っています。
- 「流動比率」は100%以上を維持しています。
- 「企業債残高対料金収入比率」は料金収入の増加により減少しており、平均値よりも低くなっています。

営業収支比率 (%)

105.3%



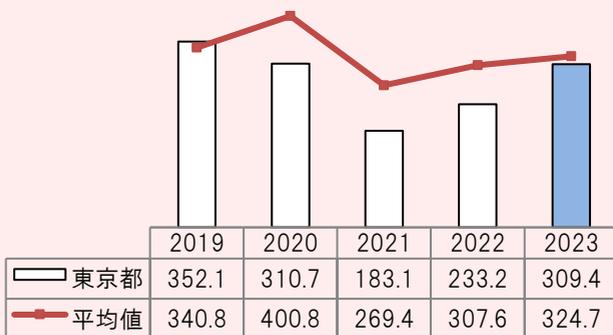
経常収支比率 (%)

104.9%



流動比率 (%)

309.4%



累積欠損金比率 (%)

33.4%



利用者1回当たり 運行経費 (円)

190.9円



他会計負担比率 (%)

1.1%



企業債残高対料金
収入比率 (%)

149.3%



有形固定資産
減価償却率 (%)

78.6%

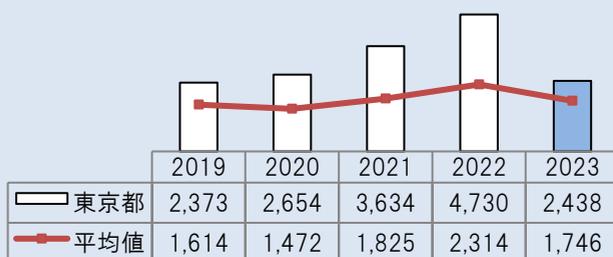


経営の
効率性

- 「走行キロ当たりの収入」は平均値よりも高くなっていますが、「走行キロ当たりの運送原価」も平均値よりも高くなっています。
- 「乗車効率」は平均値よりも高くなっています。

走行キロ当たり
の収入 (円)

2,438円



走行キロ当たり
の運送原価 (円)

2,323円



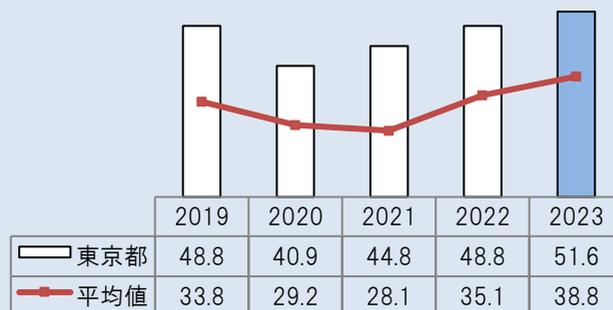
走行キロ当たり
の人件費 (円)

720円



乗車効率 (%)

51.6%





新交通事業 / 日暮里・舎人ライナー

日暮里・舎人ライナーは、日暮里～見沼代親水公園間9.7kmを運行しており、2023年度は、一日平均約9万人のお客様にご利用いただきました。

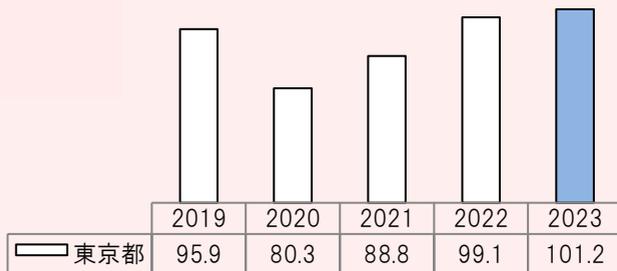
(注) 懸垂電車事業<上野動物園モノレール> (2019年11月11日から運行休止、2023年12月27日廃止) を含む

経営の健全性

- 「経常収支比率」は100%を下回っています。
- 「流動比率」は100%以上を維持しています。
- 「累積欠損金比率」及び「企業債残高対料金収入比率」は都営交通の中で最も高い水準であり、厳しい状況となっています。

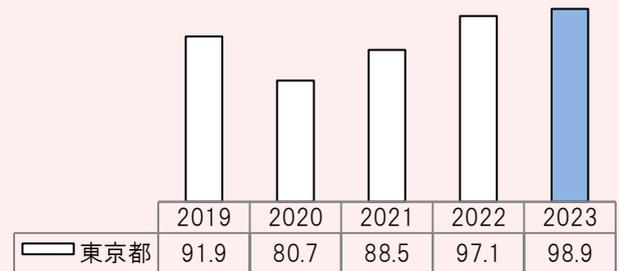
営業収支比率 (%)

101.2%



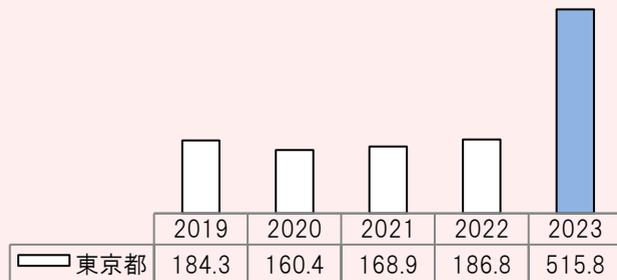
経常収支比率 (%)

98.9%



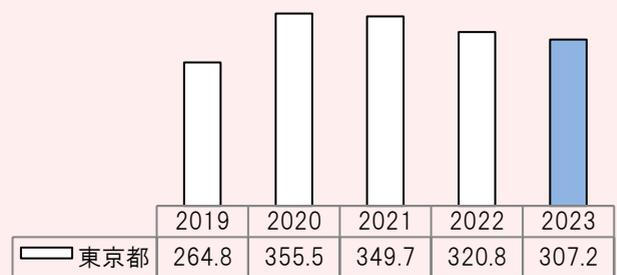
流動比率 (%)

515.8%



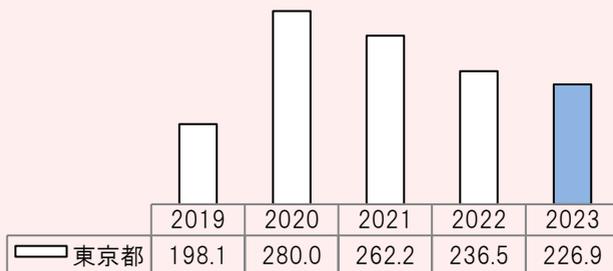
累積欠損金比率 (%)

307.2%



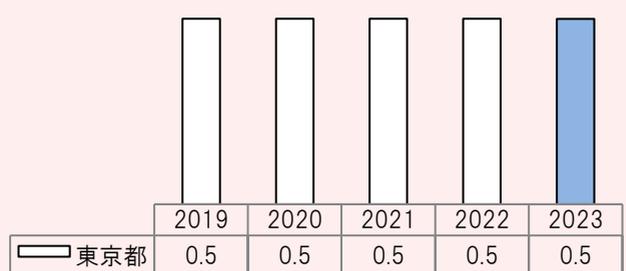
利用者1回当たり 運行経費 (円)

226.9円



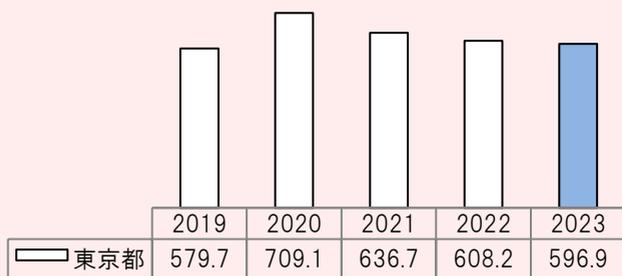
他会計負担比率 (%)

0.5%



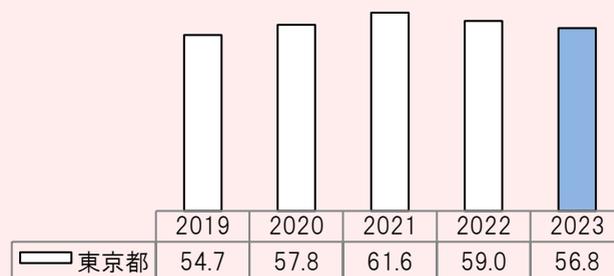
企業債残高対料金
収入比率 (%)

596.9%



有形固定資産
減価償却率 (%)

56.8%



経営の
効率性

○「乗車効率」は都営地下鉄と同程度となっています。

走行キロ当たり
の収入 (円)

907円



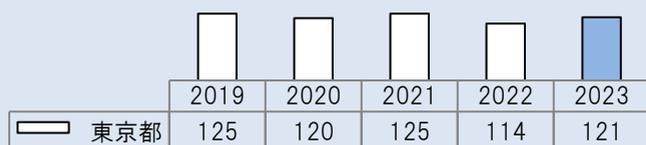
走行キロ当たり
の運送原価 (円)

918円



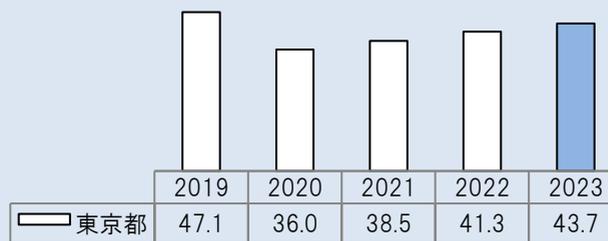
走行キロ当たり
の人件費 (円)

121円



乗車効率 (%)

43.7%





電気事業 / 発電

電気事業は1911年に始まり、現在、多摩川第一発電所、多摩川第三発電所及び白丸発電所の3か所の水力発電所を運転しています。年間発電電力量は一般家庭35,000世帯分の使用量に相当します。

経営の 状況

- 「経常収支比率」は低下しており、2023年度は100%を下回っています。
- 「流動比率」は100%を上回っており、平均値よりも高くなっています。

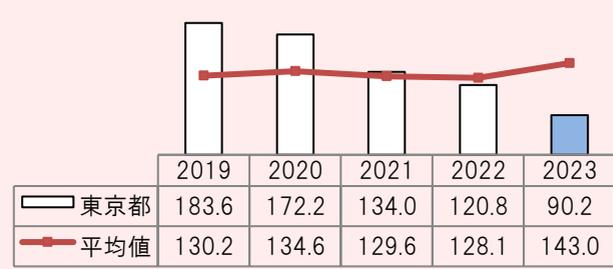
営業収支比率 (%)

87.6%



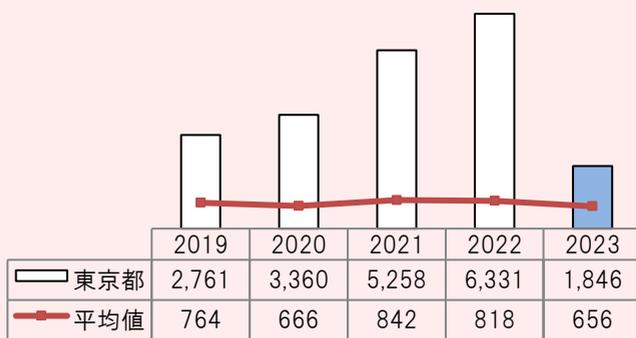
経常収支比率 (%)

90.2%



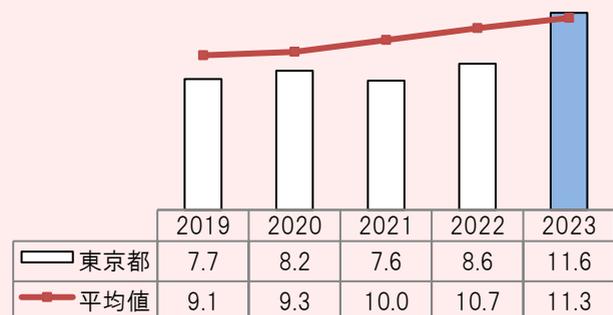
流動比率 (%)

1,846%



供給原価 (円)

11.6円

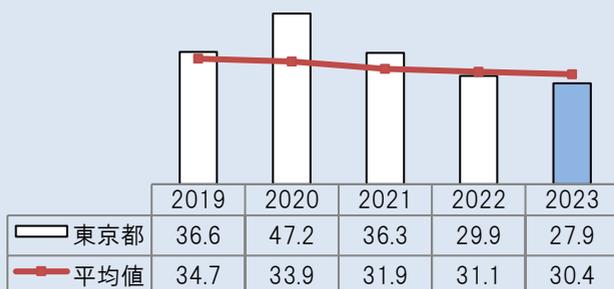


経営の
リスク

- 「設備利用率」は平均値よりもやや低くなっています。
- 「有形固定資産減価償却率」が増加傾向にあります。
- 企業債残高はありません。

設備利用率 (%)

27.9%



修繕費比率 (%)

22.5%



企業債残高対料金
収入比率 (%)

0%



有形固定資産
減価償却率 (%)

67.7%



ホームページの情報公開ポータルでは、次の内容を紹介しています

- (1) 交通局の概要
- (2) 東京都交通局経営計画及び進捗状況
- (3) 予算
- (4) 決算
- (5) 情報公開の状況 など



東京都交通局ホーム > 交通局について > 情報公開ポータル
<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/about/koukai/>

このレポートに対するご意見・ご要望をお寄せください

お寄せいただいたご意見・ご要望を参考とさせていただき、より分かりやすい経営情報の発信に努めます。

ご意見・ご要望などは、交通局ホームページの「ご意見・ご要望」のページをご利用ください。

東京都交通局ホーム > お問い合わせ > ご意見・ご要望
<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/enq/opinion/>



都営交通お客様センター

都営交通に関するお問い合わせ全般を承っております。

午前9時～午後8時〔年中無休〕

電話番号 03-3816-5700

※自動音声ガイダンスに従って、下記の3つのうちからご希望のお問い合わせ内容にあわせて番号をお選びください。

1番：運賃・時刻・ルートなどのお問い合わせ

2番：お忘れ物などのお問い合わせ

3番：その他、ご意見・ご要望など

お客様からの声についても、情報公開しております。

<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/enq/customer.html>



東京都交通局2025経営レポート

令和8年2月発行

編集・発行

東京都交通局

総務部 財務課

所在地 163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

電話番号 03-5321-1111 (代表)
